

【H29-09】

小腸疾患の診断・短期成績・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2000年1月1日から2026年12月31日までに消化器内科で小腸疾患あるいは疑いにて診療された方

2. 研究目的・方法

目的：小腸疾患あるいは疑いにて小腸検索目的の検査を行った方の、診断、早期成績（治療成績、早期偶発症）、長期予後（再発、長期偶発症等）、およびそれらに関連する因子を明らかにすること

方法：研究担当者が、対象となる方の診療記録（カルテ）や画像・検査データなどの情報を基に調査・集計します。新たな診療や検査の必要はありません。

研究期間：2027年6月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景、臨床像、薬剤内服歴、血液検査所見、内視鏡所見、画像所見、病理所見、臨床転帰（診断、再発、偶発症等）等

4. 外部への試料・情報の提供

あなたの情報・データ等は、当院を含む共同研究施設から東京大学医学部附属病院に送られ解析・保存されます。送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報进行削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、データが送られます。東京大学医学部附属病院では、集約されたデータを施錠できる室内に置かれたセキュリティーが確保されたコンピューターまたはサーバーで、また紙資料は鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、各施設においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。また研究内容によっては、個人情報が削られている集約されたデータのうち必要な情報を東京大学医学部附属病院から各施設に送り、各施設で解析することもあります。東京大学医学部附属病院へのデータ集約は個人情報が削られたデータをパスワード付のUSBまたは電子メールで行います。

5. 研究組織

東京大学医学部附属病院	消化器内科	鈴木 伸三（研究代表者）
日本赤十字社医療センター	消化器内科	鈴木 裕史
関東中央病院	消化器内科	藤澤 剛太

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることや他の研究機関への提供について患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R東京総合病院 消化器内科

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

担当者： 研究責任者 岡本 真（消化器内科 部長）

研究代表者：

東京大学医学部附属病院 消化器内科 鈴木 伸三

-----以上